

「JENESYS2018」中国高校生訪日団第1陣（招へいプログラム）の記録 （対象国：中国、テーマ：AI技術の発展と未来への影響）

1. プログラム概要

中国教育部が派遣した中国高校生訪日団第1陣計199名が、9月4日から9月12日までの8泊9日の日程で来日しました（団長：王慧（オウ・ケイ）貴州省教育庁 労働組合主席）。一行は6つのグループに分かれ、東京のほか、千葉・奈良・大阪・兵庫・熊本を訪問。各地の高校を訪問し、日本の高校生との交流を通じて、同世代の友情を深めました。また、テーマである「AI技術の発展と未来への影響」について講義や関連施設の視察を通して学んだほか、日本の政治・経済・社会・歴史・文化・自然等、様々な分野を見学、日本の魅力を体感しました。中国高校生は今回の訪日で多くの人々と交流し、日本人の考え方に触れ、様々な角度から日本理解を深め、見聞したことや体験したことを自身のSNS等を通じて発信しました。また、報告会で帰国後のアクション・プラン（活動計画）について、各グループの代表者が発表しました。

【訪問地】 東京都（199名）、千葉県（100名）、奈良県（99名）、大阪府（99名）、兵庫県（66名）、熊本県（100名）

2. 日程

9月4日（火）

羽田空港、成田空港より入国

●Aコース グループ1・2・3：東京都

【見学】江戸東京博物館

9月5日（水）～9月10日（月）

●共通プログラム：東京都

【オリエンテーション】

【テーマに関するセミナー】テーマ「人工知能の進化：現状と未来への展望」

【テーマに関する視察】千葉工業大学 東京スカイツリータウンRキャンパス・未来技術体験アトラクションゾーン（9/9：Aコース グループ1・2・3、9/5：Bコース グループ1・2・3）

【歓迎会】

※6グループに分かれ、プログラムを実施

●Aコース グループ1：東京都/熊本県/千葉県

【学校交流】熊本県立済々黉高等学校、学校法人植草学園 植草学園大学附属高等学校

【体験】勾玉づくり（熊本県立装飾古墳館）、温泉旅館宿泊

【見学】日本科学未来館、お台場海浜公園、東京スカイツリー、阿蘇山、熊本城、水前寺成趣園

●Aコース グループ2：東京都/熊本県/千葉県

【学校交流】熊本県立熊本北高等学校、千葉県立君津高等学校

【体験】勾玉づくり（熊本県立装飾古墳館）、温泉旅館宿泊

【見学】日本科学未来館、お台場海浜公園、東京スカイツリー、阿蘇山、熊本城、水前寺成趣園

●Aコース グループ3：東京都/熊本県/千葉県

【学校交流】熊本県立天草拓心高等学校、千葉県立長生高等学校

【体験】万華鏡作り（天草パールセンター）、温泉旅館宿泊

【見学】日本科学未来館、お台場海浜公園、東京スカイツリー、水前寺成趣園、熊本城

●Bコース グループ1：東京都/大阪府/奈良県/兵庫県

【学校交流】大阪府立桜塚高等学校

【体験】ホームステイ（奈良県飛鳥地域）、温泉旅館宿泊

【見学】東京スカイツリー、大阪城、大阪ガス、橿原神宮、東大寺、孫文記念館、舞子海上プロムナード、日清カップヌードルミュージアム

●Bコース グループ2：東京都/大阪府/奈良県/兵庫県

【学校交流】学校法人清風南海学園 清風南海中学校・高等学校、兵庫県立神戸甲北高等学校

【体験】ホームステイ（奈良県飛鳥地域）、温泉旅館宿泊

【見学】東京スカイツリー、大阪城、大阪ガス、橿原神宮、東大寺、孫文記念館、舞子海上プロムナード、日清カップヌードルミュージアム

●Bコース グループ3：東京都/奈良県/大阪府

【学校交流】奈良県立法隆寺国際高等学校、大阪府立りんくう翔南高等学校

【体験】ホームステイ（奈良県飛鳥地域）、温泉旅館宿泊

【見学】東京スカイツリー、大阪城、グランフロント大阪ナレッジキャピタル、大阪歴史博物館、奈良市防災センター、唐招提寺、橿原神宮、東大寺

9月11日（火）

●共通プログラム：東京都

【歓送報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

●Aコース グループ1・2・3：東京都

【見学】東京臨海広域防災公園 そなエリア東京、皇居・二重橋

9月12日（水）

●Bコース 1・2・3：東京都

【見学】国立科学博物館、皇居・二重橋

羽田空港より出国

3. プログラム記録写真

<共通>	
	
9月5日【テーマに関するセミナー】 「人工知能の進化：現状と未来への展望」	9月5日【テーマに関するセミナー】 「人工知能の進化：現状と未来への展望」
	
9月5日【歓迎会】外務省アジア大洋州局 深堀裕賢 地域協力室長による挨拶	9月5日【歓迎会】中国高校生パフォーマンス (貴州省民族舞踊)
	
9月5日・9日【テーマに関する視察】 千葉工業大学 東京スカイツリータウンRキャンパス・未来技術体験アトラクションゾーン	9月11日【歓送報告会】団員による感想・アクション・プラン発表

<Aコース グループ1・2・3> (訪問地:東京都、熊本県)



9月4日【見学】江戸東京博物館



9月5日【見学】日本科学未来館



9月8日【見学】熊本城



9月11日【見学】東京臨海広域防災公園
そなエリア東京

<Aコース グループ1・2> (訪問地:熊本県)



9月6日【体験】勾玉づくり
(熊本県立装飾古墳館)



9月8日【見学】阿蘇山

＜Aコース グループ1＞（訪問地：熊本県、千葉県）



9月7日【学校交流】熊本県立済々黉高等学校



9月10日【学校交流】学校法人植草学園
植草学園大学附属高等学校

＜Aコース グループ2＞（訪問地：熊本県、千葉県）



9月7日【学校交流】熊本県立熊本北高等学校



9月10日【学校交流】千葉県立君津高等学校

＜Aコース グループ3＞（訪問地：熊本県、千葉県）



9月7日【学校交流】熊本県立天草拓心高等学校



9月10日【学校交流】千葉県立長生高等学校



9月8日【体験】万華鏡作り
(天草パールセンター)



<Bコース グループ1・2・3> (訪問地:大阪府、奈良県、東京都)



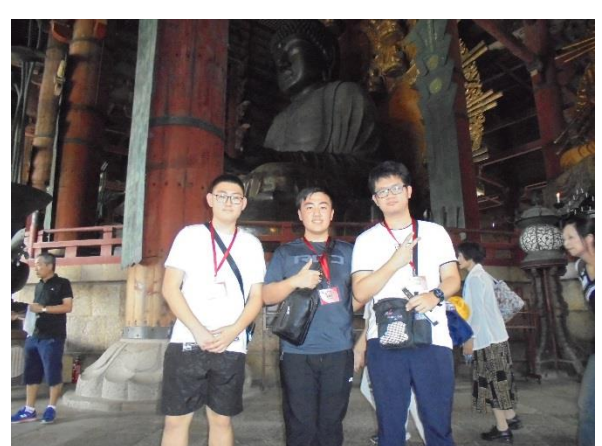
9月6日【見学】大阪城



9月8日【見学】橿原神宮



9月8日・9日【体験】ホームステイ
(奈良県飛鳥地域)



9月9日【見学】東大寺



9月12日【見学】国立科学博物館



9月12日【見学】皇居・二重橋

<Bコース グループ1・2> (訪問地:大阪府、兵庫県)



9月8日【見学】大阪ガス



9月9日【見学】舞子プロムナード



9月10日【見学】
日清カップヌードルミュージアム

＜Bコース グループ1＞（訪問地：大阪府、兵庫県）



9月7日【学校交流】大阪府立桜塚高等学校



9月9日【見学】孫文記念館

＜Bコース グループ2＞（訪問地：大阪府、兵庫県）



9月7日【学校交流】学校法人清風南海学園
清風南海中学校・高等学校



9月10日【学校交流】兵庫県立神戸甲北高等学校

＜Bコース グループ3＞（訪問地：奈良県、大阪府）



9月7日【学校交流】
奈良県立法隆寺国際高等学校



9月10日【学校交流】
大阪府立りんくう翔南高等学校

	
9月6日【見学】グランフロント大阪 ナレッジキャピタル	9月7日【見学】奈良市防災センター
	
9月8日【見学】唐招提寺	9月9日【見学】大阪歴史博物館

4. 参加者の感想（抜粋）

中国高校生

Aコース グループ1（訪問地：東京都、熊本県、千葉県）

○日本訪問を通じて、より深く日本を理解することができた。訪問先の2箇所の高校では、日本の高校生達の熱意を感じた。直接彼らと交流し、互いの文化を紹介し合い、友情をはぐくんだ。訪問先では、東京五輪音頭や文化祭のステージ発表、授業などに参加した。私達の学校も日本同様、多彩な活動があり、学校生活は充実している。同年代同士、趣味などを紹介し合ったりして楽しく過ごし、互いに理解し、成長できた。

Aコース グループ2（訪問地：東京都、熊本県、千葉県）

○今回訪問した熊本北高等学校と千葉君津高等学校では、授業体験や文化交流を通じて、日本の高校生の日常生活に触れた。授業では、「かわいい」活発な生徒達と、生態バランスにおいて酸素と二酸化炭素が人体に果たす重要な役割を学んだ。熊本で2年前に起きた地震の原因分析や仮説の検証などを行う授業にも参加した。また、課外活動では、中国とよく似た書道や茶道を体験。書道ではその奥深さや漢字の美しさを学んだ。中日両国の文化には異なる点もあることが分かった。例えば、日本の茶道は先に甘い物を食べ、後で苦いお茶を飲むが、

中国では逆である。

図書館で日本語に訳された繁体字版の『貞観政要』を見た時は感動した。

同時にまた、中日両国は一衣帯水の隣国であり、密接な関係があることを意識した。日本科学未来館では、日本のハイテクの発達を感じた。一生懸命勉強し、祖国を更に繁栄させ、強い国にしたい。

A コース グループ3（訪問地：東京都、熊本県、千葉県）

○今回の訪日交流のテーマは「人工知能の進化：現状と未来への展望」。私の頭の中で人工知能は単なる言葉の概念ではなくなり、より深く理解できた。現在、人工知能技術は飛躍的な発展をしていて、将来、職業大陸は機械化によって水没するだろう。人工知能の発展により一部の人の仕事がなくなったとしても、それは社会の進歩の産物であり、人類は自分の価値観を見直し、社会の新しい変化に適応しなければならない。

学校訪問のことは、熊本県立天草拓心高等学校、千葉県立長生高等学校ともに、細部まではっきり覚えている。歓迎会、閉会式、更には傍を通っただけでも、皆、私達にお辞儀をし、微笑みかけ、手を振ってくれた。片言の英語と漢字による交流だったが、笑顔が私達を温かな気持ちにさせてくれた。印象深いのは天草拓心高等学校のビジネス実務の授業での体験。名刺を作り終わった後、グループ内の生徒だけでなく、クラス全員が私達の所に来て、自己紹介をしたり、一緒に写真を撮ったりした。

高校時代にこのような外国の生徒と交流する機会を持つことができ幸せに思う。歓迎してくれた日本の学校の先生・生徒皆に感謝している。

B コース グループ1（訪問地：東京都、大阪府、奈良県、兵庫県）

○今回の訪問は非常に楽しかった。訪日前は、慣れない環境で言葉も分からないので、内心不安だった。でも、出会った日本人は、高校生、スタッフ、ドライバーなど、皆私達に良くしてくれた。訪日前は、あまり魚が好きではなかったが、ホームステイ先の「おとうさん」「おかあさん」のおもてなしを受け、いろいろ食べてみたら、結構おいしかった。学校訪問はとても印象に残った。場が盛り上がりたのではと心配していたが、実際に会ってみると、言葉は通じなくても、皆フレンドリーで、心と心の距離は縮まった。積極的に私と交流しようと、共通の話題を探してくれた。一生懸命ジェスチャーをしてお互い疲れて汗も出たけれど、とても楽しく笑い合い、素晴らしい思い出となった。校内見学の時、元気一杯に文化祭の準備をしている女子生徒と出会い、自分も元気をもらった。

今回の訪問で最も印象深かったのは、やはり日本人の真面目さとおもてなしの心。ドライバーは毎回一生懸命荷物を車に載せ、挨拶もしてくれた。ホテルのスタッフも、玄関で私達の出発を見送ってくれた。スーパーの店員も同様、日本語が分からず迷惑をかけたが、丁寧に答えてくれた。

B コース グループ2（訪問地：東京都、大阪府、奈良県、兵庫県）

○今回の訪問はとても有意義だった。日本の有名な観光地もたくさん訪問できた。学校訪問では、清風南海高等学校の生徒と交流し、日本式の高校の授業を体験した。先生はユーモアがあり、科学関連のビデオを見せてくれ、授業には活気があった。生徒達も明るく積極的で、人工知能やARの応用、ビッグデータ、AIの応用など、とても興味深かった。また、人工知能

の大いなる未来を考えると、今後の学習や就職はこうした方面を重視する必要があるようだ。日本人は仕事熱心で綺麗好きだと聞いていたが、今回、自分の目で見る事ができた。日本到着後すぐ、日程や詳細な活動場所の地図など 80 頁に及ぶ冊子を受け取った。これだけを見ても、日本人の真面目さが分かる。日本の街はとても清潔で、ゴミ箱もゴミもほとんど見かけなかった。また、日本の観光地をたくさん見学し、東京スカイツリーからは日本の風景を一望、大阪城天守閣では日本の戦国時代を理解、大阪ガスの工場では進んだ技術を見ることができた。

最も印象深かったのはホームステイ。「おかあさん」「おとうさん」は私達にとっても良くしてくれた。お好み焼きを一緒に作り、温泉に入り、夜は一緒に日本のカードゲームで遊んだ。

「おかあさん」は私達を昆虫館に連れて行ってくれ、いろいろな昆虫を見て楽しく過ごすことができた。お別れの時はとても悲しかった。今回の体験は一生の宝になるだろう。

B コース グループ 3 (訪問地:東京都、奈良県、大阪府)

○今回の訪問は非常に感慨深く、収穫が多かった。日本人の友情や温かさに感動した。ホテルでの行き届いたサービスを受け、毎日挨拶してもらい、慣れない環境への緊張感が和らいだ。ホテルを出発する時は多くのスタッフが私達に手を振ってくれた。

学校訪問やホームステイでも同様。奈良市の高校では、日本の生徒と英語の授業を受けた時、一緒にポスターを完成させ、積極的に英語で交流した。大変だったが、とても楽しく、新鮮な体験だった。最も楽しかったのはホームステイ。60 歳くらいのおじいさんの家で、夫婦ともに優しくかった。一緒に夕食を作って食べ、和服を体験し、散歩もした。二人の生活がとても良く分かった。離村式では皆、目を真っ赤にしていた。受け入れ家庭がとても良くしてくれたので別れは辛かったが、交流を深めることができて良かった。

最も感動したのは、日本人が温かく、友好的だということ。これは学ぶべきだと思う。また、山の街・重慶とは違い、日本は非常に静かな国で、埃が少しもない。朝の街は人もまばらで、大きな声で話す人もなく、とても心地良かった。千葉工業大学やナレッジキャピタルで見た多くのおもしろい発明は、私達の生活に便利さと輝きをもたらしてくれるもので、視野を広げることができた。

5. 受入れ側の感想

日本高校生

○今回の中国高校生との交流は普段の日常会話や英語の授業では体験できないことなのでごく新鮮でした。同じ年ぐらいの子と英語を繋がることができました。自己紹介したり、自分の行ってみたい国を言ってみたり、自分の意見を伝えることは簡単な事ではありませんでした。また、相手の言っている事を 1 回で聞き取れなかった事もありました。でも、何度も違った言い回しを考えてみたり、ジェスチャーをしたり、相手に伝わりやすいように伝える事が大切なのだと分かりました。そして、アイコンタクトを取ることで、より相手に伝わっているように感じました。さらに、私がしゃべっている時に、中国人の高校生は相槌を打ってくれたり、うなずいたりしてくれました。共感を得られたようでうれしくなりました。中国人の高校生と会話を楽しんでいるうちにあっという間に時間は過ぎてしまいお別れの時間となりました。別れは寂しく、もっとお話ししたいと思いました。私は、今回の学校交流で意見を伝える時は、この英語間違っていないかなと心配して止まっているよりも、どんど

ん積極的に話していくことが大切だと思いました。限られた時間の中で貴重な機会を無駄にはしてはいけなと改めて感じました。また、私は英語力を伸ばし、今度会った時にはもっとスムーズに会話が出来ようになりたいです。これからも、この中国人高校生との学校交流事業が行われて行くことを願っています。

○この交流を行う前は、中国のイメージに対して悪い偏見を持っていました。しかし、交流の後、中国の高校生は、今の私たちとなんにも変わらないだと思いました。例えば、中国は学歴社会だから、何十時間と勉強してるのかなと思っていましたが、武術をやってる人や、スポーツをやっている子、好きなアイドルのコンサートに行ってる子もいました。また授業中では、私よりも英語が堪能で、聞きとりづらい部分もあったけど、こちらがわかっていない時は、ゆっくり、簡単な英語を使ってコミュニケーションがとれました。授業の中で、自分たちの国でおすすめの場所を教える時に「京都」を紹介したところ、彼らは全く京都について知らなかったのが驚きました。でも「千葉」については名前はきいたことあると言って、千葉県はしっていて京都は知らないって不思議だと思いました。彼らと話していて感じたことは、自分の信念、考えをしっかりとっていて、はっきりしているなと感じました。日本人はどちらかと言うと自分の意見が周りに流れやすいイメージがあって、私自分もそうだと思います。なのでこれからは、彼らのように、自分の考えや意見をしっかりとって、周りに流されないようにしていきたいと思いました。あと、何人か中国人の女の子と連絡先を交換したので、いつか中国を訪れた時は、中国を案内してもらいたい、逆に日本に来てくれた時は、私が案内したいと思いました。そのために、これから英語の勉強を頑張って、今よりも上達したいです。

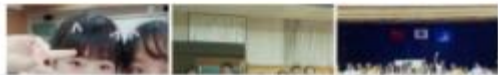
○今回、中国の方々との交流を通して、言葉の壁はあるけれど、心の壁はないということを初めて実感しました。私にとって、外国の人とふれあうことが初めてだったため、戸惑うところもありましたが、体育の授業だったということもあり、一緒に体を動かして、楽しむことができたのでよかったです。また、中国と日本の文化の違いもあり、その違いを見つけることが楽しかったです。拍手のタイミングや指示をされたら、周りを気にすることなく的確に行動されている姿がとても印象的でした。日本人は周りがするから自分もするといった行動がよく見られているため、とても流されやすいタイプだけど、中国の方は自分という芯がとおっているんで、私もそういう人間になりたいと思いました。日本語も中国語も似ているように見えるけれど、読み方やイントネーションが難しくて、びっくりしました。もっと中国語を勉強して、会話ができるようになりたいと思いました。言葉、文化、行動力など日本とは異なり、新しい体験をすることができたので、とても新鮮でした。誰にも敬意をはらい、感謝の気持ちを表すことができることは日本人も真似したほうがよいことだし、中国の方も日本の文化に興味をもってもらえたら、嬉しく思いました。また、ぜひ交流をしたいです。

○初め会ったときは、とても緊張したし、英語がちゃんと伝わるかとても心配でした。英会話でグループを作ったときは自己紹介を軽くして上手くなじめて話せました。自分からたくさん話してくれる人たちだったので多少伝わらなくても全然安心してお話が出来ました。ポスターを作るときに日本の祭り与中国の祭りの伝統を聞き合いました。私たちは祇園祭りについてお話ししようと思ったけどなかなか英語で伝わらなくて上手く会話が出来なかったけど

無事に伝えられて良かったです。素敵なプレゼントと写真も撮ってもらえて嬉しかったです。まだまだこれから英語を勉強しようと思います。

○中国の方と話すという経験をしたことがなかったので、初めはすごく緊張していました。でもいざお話ししてみるととてもフレンドリーで話しやすかったです。基本的には英語でのお話しでした。私は単語でしか話せないけれど、理解してくれてコミュニケーションがとれた時はすごく嬉しくて、沢山お話ししてしまいました。中国語の授業で習った自分の名前の中国読みを伝えると「ああ！」と分かってくれたみたいで中国語選択で良かったなあと思った瞬間でした。バディだった方は日本のアニメが好きで、私も知っているアニメの名前がでてきたときはすごくびっくりしたし、共通の話題があることに驚きました。お互いの町の特徴を紹介し合ったり、メッセージカードを書きあったり、本当にすごく楽しくて時間が足りませんでした。本のしおりをプレゼントしてもらいました。大切にします。

6. 参加者の対外発信

9月6日／高校生／Weibo	9月7日／高校生／Weibo
9月06日21:05 日式温泉〇〇〇飘飘欲仙呢～ 边泡边回忆“温泉水清洗凝脂”～最后开始觉得自己像一棵柔柔的水草～ 风景图出自美术大师@ [redacted] 水前寺成趣园！ 	日本的小伙伴们真的太热情了，每个人都好爱笑。很开心能够去感受他们的课堂，虽然沟通只能靠几句简简单单的英语，但是言语之中，是满满的快乐，感谢你们的热情款待❤️  日本・天草・ゲオ 天草瀬戸橋店 2018年9月7日
日本理解についての発信 和風温泉、仙人になる気分だ。温泉につかりながら「温泉水滑らかにして凝脂を洗う」という節を思い出して、やがて自分も柔らかな水草になった気がした。	学校交流についての発信 日本の生徒達は本当に情熱的で、皆よく笑う。簡単な英会話でしかコミュニケーションが取れないが、言葉で楽しさがいっぱい感じ取れて、授業に参加できて嬉しかった。温かく迎え入れてくれてありがとう！
9月9日／高校生／WeChat	9月7日／高校生／WeChat
1天19:42 哎呀妈呀，今天下午太爽了！荒废了5年的🏀给捡了起来，热身时在发球线上还能投中好几个！和日本盆友一起打了两节的比赛——五年都没有这么疯狂地跑过打过了！！也体会到了肌肉记忆...我的球技还可以算第二啊🤔 【p5咱们是最佳搭档🌟】最先我们都在跑全场，后来我跑不动了😓就在篮下接应带球过人的她，尤其第二节是疯狂得分🔥 可爱的A [redacted] 姐姐👧——优秀的学生会主席，喜欢书法，自拍时也会闭一只眼睛！我们的爱好太像了👍👍👍 乒乓球更是六七年没动了.....但感觉还阔以！ 具有地域特色的和服舞蹈很棒！！ 	奈良法隆寺国际高中的同学们真的好热情 全程英文交流 有一点小困难 但还是意犹未尽 体验了日本茶道文化 真的是很有意义的一天❤️ 

学校交流についての発信 ハ～今日の午後は本当に気持ちよかった！バスケットボールは五年ぶりだが、ウォーミングアップでベースラインから何回もシュートできた！日本の生徒とミニゲームを二回行った。五年もの間、こんなに激しく走ったりプレイしたりする機会がなかった！！！筋肉の記憶がよみがえり、私の技術は二番手と言えるでしょ。 「私達はベストパートナー」最初は場内で走り回ったが、次第に動けなくなって、ネットの下でドリブルしてきた彼女のパスを待つことにした。特に 2 ゲーム目の得点はすごかった！ 可愛い●●ちゃん：優秀な生徒会会長、趣味は書道、自取りの時はウィンク！私達の趣味が似すぎている。 卓球も 6、7 年ぶりだが、まだいける気がする。 特色のある和服舞踊も素敵だ！	学校交流についての発信 奈良法隆寺国際高校の生徒達は本当に情熱的だ！ 最初から最後まで英語での交流はちょっと大変だったが、いまだに余韻に浸っている。 日本の茶道文化も体験した。 本当に有意義な一日だ！
9 月 14 日／高校生／Weibo	9 月 16 日／高校生／WeChat
日本之旅，怀念，难忘 希望以后有机会在日本留学 	今天17:48 日本的科技文化值得我们学习。 
日本理解についての発信 日本の旅、懐かしい、忘れがたい 今後、機会があれば日本に留学したいと思う	日本理解についての発信 私達は日本の科学・技術・文化を見習うべし。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



<A コース>

- ・講演や報告会、また SNS 等も使用して今回の日本での経験を共有して、もっと多くの同級生に日本について理解してもらいたい。
- ・日本の友人との交流をより強化し、歴史、文化の知識を学び、先進的な科学技術を学びたい。
- ・インターネット（メール等）で日本の高校生と写真交換や日常生活についてのチャットをして連絡を取り続ける。
- ・日本での体験を旅行記としてまとめ、SNS に投稿する。
- ・帰国後は、学校で開かれる訪日体験報告会での発表に向けて、しっかりと原稿を準備し、皆に日本人が温かく、交流に熱心であることを伝えたい。
- ・日本滞在中、毎日家族と WeChat のビデオ電話で日本の宿泊場所や観光等について伝えていた。中日両国の友好のために少しでも貢献したい。

<B コース>

- ・日本で見聞きしたこと、感じたことを中国の友人に伝え、日本でできた友人とは連絡を続け、文化交流を続けていきたい。
- ・購入した絵はがきや記念品を中国の友人とシェアし、その歴史背景を紹介する。
- ・剣道など、日本文化を更に理解する。
- ・日本で知り合った友人と連絡を取り続ける。奈良県立法隆寺国際高等学校や大阪府立りんくう翔南高等学校やホームステイでの交流では、仲良くなった日本人と電話番号やメール、住所など連絡先を交換した。この友情はとても大切なものなので、手紙やメールを通じて理解を深め、感謝の気持ちを伝えたい。
- ・帰国後は、学校や所属団体で訪日報告を行い、日本での体験を紹介する。クラスや校内での交流報告会では、クラスメイトに訪日体験を紹介し、感想を伝える。それ以外にも、レポートを書いて感想を述べる。
- ・日本での体験を家族や友人とシェアする。WeChat や微博などの SNS を通じて、日本での体験を発信する。